

1. ネコノメソウ



山地の湿ったところに群生する多年草、花は 2mm ほどで、がくは淡黄色、葉は対生し、雄しべは 4 個(他の 7 種は 8 個が基本)。

2. ツルネコノメソウ



山地谷沿いの湿地に生え、茎葉は互生し円形で鋸歯がある。雄しべは 8 個、^{めく}約とがくは黄色。

3. マルバネコノメソウ



山地谷沿いの湿地に生え、葉は対生で、茎には粗い毛がある。

4. イワネコノメソウ



関東以西の沢沿いの湿地に生え、葉は扇形で長柄があり、がくは部分的に赤紫色になる。

5. チシマネコノメソウ



谷沿いの陰湿地に生え、全体がほとんど無毛。ロゼット状根生葉があり、葯は淡橙色。

6. ヒダボタン



山地谷沿いの湿地に生え、花のまわりの葉は鮮黄色、がくは黄緑色で直立する。

7. ヤマネコノメソウ



林内の湿地に生え高さ 10～20cm、全体に長毛を散生する。雄しべは 8 個だがまれに 4 個の場合がある。茎の基部に^{ちかづ}珠芽ができる。

8. ニッコウネコノメ



山地の谷沿いに生える多年草、がくは直立せず、葯は紫色を帯びる。